

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	1	1	「日本で最も美しい村」連合広域事業(ビューティフルデー)推進など環境美化参加機会の創出で、持続可能性を求める村民意識の醸成	担当課	企画財政G 住民G	
				まちづくり計画	65、66、67	ページ
実施状況				決算額		
R3	【住民G】 ・5月8日に実施した「クリーンなかさつない」は、コロナ禍の状況を踏まえ3ヵ所の会場に分散化することで、村に 関係のある企業等の地域貢献を含めて176名の参加をいただき実施した。 ・10月3日に実施した「ビューティフルデー」は、日高山脈国立公園化の動きを考慮し、道道55号を中心とした清掃 活動に119名の参加があったが、日頃の地域における清掃活動もありゴミ回収量は100kg程と少なく終えている。 ・一般村民に向けては、令和2年度作製の「ボランティアごみ袋」利用による活動を促進した。 ・役場職員においては、職員会活動の一環として毎月1回(冬期間を除く)の清掃を実施している。 【企画財政G】 ・9月「ビューティフルデー」開催に向けて村内企業へ後援依頼(7社協賛)。北海道へ後援依頼(当日、十勝総合 振興局職員参加)。そのほか総務省、農林水産省、環境省が後援。			・報償費 86千円(ビューティフルデー参加賞等) ・負担金 608千円(日本で最も美しい村連合負担金)		
R4	【住民G】 ・5月14日に実施した「クリーンなかさつない」は、令和3年度と同様にコロナ禍の状況を踏まえ3ヵ所の会場に分散 化することで、村に 関係のある企業等の地域貢献を含めて159名の参加をいただき実施した。 ・一般村民に向けては、「ボランティアごみ袋」利用による活動を促進した。 ・役場職員においては、職員会活動の一環として毎月1回(冬期間を除く)の清掃を実施している。 【企画財政G】 ・10月1日ビューティフルデー実施(全国加盟村での実施は3回目)。美しい村資格審査で指摘を受けていた国道 沿いの草取りを中心に実施。参加者は、参加者は、他のイベントと重なったため例年より少なかったが満足度は高 かった印象である。 ・「木と森の役割」と題して本村の景観資源である防風林等をテーマに景観ツアーを実施し、村民約20名が参加し た。			・需用費 18千円(クリーンなかさつない参加賞等) ・負担金 577千円(日本で最も美しい村連合負担金) ・補助金 141千円(景観ツアー、ふるさとづくり事業)		

R5	【住民G】 ・5月13日に実施した「クリーンなかさつない」は、昨年度と同様に3カ所の会場に分散し、村に関係のある企業等の地域貢献を含めて183名の参加をいただき実施した。 ・一般村民に向けては、「ボランティアごみ袋」利用による活動を促進した。 ・役場職員においては、職員会活動の一環として毎月1回(冬期間を除く)の清掃を実施した。 ・監視カメラを設置し、警察と連携し不法投棄者を特定して指導を行い、不法投棄物の減少を図った。 【企画財政G】 ・9月30日にビューティフルデーを実施し、メインストリートでの草取りを行った。参加者は約100名となった。 ・景観計画の策定に向け、景観特性の調査・分析を行った。(パシフィックコンサルタンツ株式会社に委託) ・職員タスクチーム会議を開催し、庁内各課の景観上の課題や施策を共有した。 ・美しい村連合の活動について認知度を高めるために、村広報紙へ美しい村連合通信を毎月掲載した。 ・中札内村景観まちづくり委員会インスタグラムを活用した情報発信を行った。 ・村民等意識調査(アンケート)を実施した。 ・南十勝夢街道プロジェクト人材育成事業を活用し、河本大地先生をお招きして「SDGsと地域づくり」をテーマとした講演会を開催した。	・需用費 19千円(クリーンなかさつない参加賞等) ・備品購入費 47千円(不法投棄監視用カメラ) ・負担金 658千円(日本で最も美しい村連合負担金) ・委託料 4,565千円(景観計画策定策定調査委託)
R6	【住民G】 ・全村的なイベントである「クリーンなかさつない」「ビューティフルデー」の活動を効果的かつやりがいや達成感が得られるものとするため、当日の活動場所を厳選するとともに活動方法や周知内容を工夫することで、村民の参加意識を高めていく。 ・環境美化に対する村民意識高揚のため、ごみ分別の方法やマナーを含めた周知活動を定期的に実施する。 ・不法投棄抑止対策としての監視カメラの設置。 【企画財政G】 ・9月28日にビューティフルデーを実施予定(全国加盟村での実施は5回目)。 ・景観ワークショップや職員タスクチーム会議、景観まちづくり委員会の開催により景観計画の素案を策定。 ・村広報紙を活用した美しい村連合通信の連載(隔月)、景観行政団体や景観計画等に関する情報を掲載。	・需用費 20千円(クリーンなかさつない参加賞等) ・役務費 26千円(クリーンなかさつない等参加者保険料) ・負担金 664千円(日本で最も美しい村連合負担金) ・委託料 4,675千円(景観計画策定策定調査委託)
R7		
進捗状況	実施済み ・ 一部実施 ・ 未実施(検討中) ・ 未着手	
今後の取組・方向性	【村長ヒアリング結果】 ・村民意識醸成のためには継続して取り組むことが必要。一部実施とする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・環境美化に関する活動は活発な印象だが、自然環境の保護・保全に関しての活動は弱く感じる。日高山脈が国立公園となったこともあり、今後はごみ問題、環境破壊の防止策等に力を入れてほしい。	

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	1	2	七色献立プロジェクト(健康ポイント事業等)、まるごと元気アッププログラム、社会教育運動事業等における民間事業者と連携した成果重視の施策展開強化	担当課	保健G、福祉G 教育委員会	
				まちづくり計画	34、35、38、39、40、50、51	ページ
実施状況				決算額		
R3	【教育委員会】 ・トレーニング教室(4回)…エクササイズ+トレーニングマシン指導の教室を実施。 ・運動習慣プログラム(9回)…運動習慣化を促す教室を実施。参加前後のアンケートや体力測定をもとに事業分析も実施。 【保健G、福祉G】 ①地域まるごと元気アッププログラム ・まる元運動教室の中級クラスを1クラスから2クラスに増設し、前年度末3クラス76名に対し今年度末4クラス合わせて90名が登録され介護予防に取り組まれた。 ・お元気度測定会に参加した、まる元参加者とまる元に参加されていない一般の方を比較したところ、握力の平均値について、一般参加者が加齢に伴い自然減退していたのに対し、まる元参加者は向上を示していた。 ・アンケートの結果、筋力トレーニングを取り入れた上級クラスがあれば参加したいかの問いに、40名中34名が参加したいか、どちらかといえば参加したいと回答された。 ②七色献立プロジェクト(健康ポイント事業等) ・村立小中学校にポイントの寄附をおこなう仕組みを導入することで、教職員や保護者の方など働く世代の参加が増加している。参加者821名 1,000円参加費(チャレンジコース)461名 ・民間企業に委託し、事業参加者と非参加者の医療費抑制効果の分析を実施している。 ・北海道大学に2017年～2021年の健康ポイント事業の参加状況・歩数の変更について分析を委託した。 ・タニタと連携した健康メニューの提供を村内飲食店2店舗で実施している。			【教育委員会】 講師料 650千円 分析手数料 66千円 【保健G、福祉G】 ①まる元運動教室委託料2,376千円(介護特会) ②お元気度測定会440千円(介護特会) ③送迎業務委託163千円(介護特会) ②七色献立プロジェクト 13,602千円		
R4	【教育委員会】 トレーニング教室(12回)…エクササイズ+トレーニングマシン指導の教室を実施。 ヘルスケアプログラム(13回)…医療機関と連携し、健康管理上運動が必要な住民をターゲットに実施。 運動習慣プログラム(9回)…運動習慣化を促す教室を実施。 【保健G、福祉G】 ①地域まるごと元気アッププログラム ・60歳代～70歳代から早期の介護予防を図る目的で、まる元運動教室の中級クラスよりも筋力向上に特化した“まる元プラス”をR5年度新設に向けて協議検討し、令和5年度より開設することとした。 ・まる元参加者のうち高齢による体力の低下がみられる方は、訪問リハビリやデイサービスへ移行、もしくはまる元と併用するなどして介護予防に取り組まれている。社協による「遊びの教室」の新設は、現状では難しい。 ②七色献立プロジェクト(健康ポイント事業等) ・村立小中学校にポイントの寄附を行う仕組みを導入することで、教職員や保護者の方など働く世代の参加が増加した。参加者915名 チャレンジコース(参加費1,000円)523名 ・民間企業(サッポロドラッグストア)と連携協定を結び、ウォーキングイベントや店舗イベントを開催した。また、健康ポイント事業の窓口業務を一部委託することにより、住民の利便性に配慮した。 ・教育委員会運動教室事業並びに中札内村立診療所と連携し、運動の習慣化や測定したデータを診療や保健指導に活用した。 ・中札内村立診療所に、活動量計データ送信機器と血圧計を設置し、通院者の利用環境を整備した。 ・健康づくり講演会を開催し、健康ポイント事業医療費評価・分析(令和3年度実施)を報告し、歩くことを基本とした健康づくりの意義を住民と共有した。 ・北海道大学との共同研究により、健康ポイント事業参加者等にインタビューを実施し、健康づくりを継続するための要因を探索した。 ・タニタと連携し開発した健康メニューを村内飲食店1店舗で提供した。また、特定健診等受診者へのインセンティブとして、1食分を無償提供し、健診後の食生活改善を促した。			【教育委員会】 講師料 771千円 分析手数料 132千円 【保健G、福祉G】 ①地域まるごと元気アッププログラム ・まる元運動教室委託料2,376千円(介護特会) ・お元気度測定会440千円(介護特会) ・送迎業務委託278千円(介護特会) ②七色献立プロジェクト10,841千円		

R5	【教育委員会】 コンディショニングプログラム(6回)…エクササイズ指導の教室を実施。 健診等における運動体験(11回)…健康診断や結果説明会において、運動体験を実施して各プログラムへの参加を呼びかけ。 ヘルスケアプログラム(7回)…医療機関と連携し、健康管理上運動が必要な住民をターゲットに実施。 大人の体育プログラム(9回)…運動習慣化を促す教室を実施。 【保健G】 ①地域まるごと元気アッププログラム ・初級2クラス、中級2クラス、まる元プラス1クラスの計5クラスを実施。広報やホームページで周知している他、口コミで新規の参加者が増えている。 ・教室の送迎はNPO法人 夢というへ委託していたが、ドライバーの人材確保が困難なため受託できないとの申し出があり、R6より大新東へ委託している。 ・社会福祉協議会で養成したゆる元指導者が、サロンや給食交流会等社協事業で活躍している。 【福祉G】 ②七色献立プロジェクト(健康ポイント事業等) ・健康ポイント事業各種受付業務をサツドラ中札内店に集約し、恒常的な夜間・休日対応等による住民の利便性が向上した。 ・運動指導委託業者(ちくだいKIP)による健診の待ち時間を活用した運動指導、健診結果説明会における運動指導を実施し、教育委員会主催の運動教室に繋げる仕組みを構築した。 ・村立診療所との連携による健康講座、運動の習慣化や測定したデータを診療や保健指導に活用した。	【教育委員会】 講師料 149,000円 委託料 1,060,000円 【福祉G】 ①地域まるごと元気アッププログラム ・まる元運動教室委託料 2,904千円(介護特会) ・お元気度測定会 440千円(介護特会) ・送迎業務委託 247千円(介護特会) 【保健G】 ②七色献立プロジェクト11,454千円
R6	【教育委員会】 コンディショニングプログラム(4回)…エクササイズ指導の教室を実施。 アンケート調査・プログラム企画…健康ポイントの参加者を対象に運動習慣に関するアンケートを実施。結果を基に運動無関心層に向けた運動プログラムを企画。 運動プログラム(24回)…運動無関心者のタイプに合わせた運動プログラムの開発と実施を成果運動型契約により行う。 【福祉G】 ①地域まるごと元気アッププログラム ・初級2クラス、中級2クラス、まる元プラス1クラス計5クラス実施しており、広報やホームページで周知し、クチコミで新規の参加者が増えている。 ・社会福祉協議会で養成したゆる元指導者が、レベルアップのため中級指導者の研修を受講しサロンや給食交流会等社協事業で運動を展開する。 【保健G】 ②七色献立プロジェクト(健康ポイント事業等) ・毎年6月から開始していたが、5月のイベント(クリーンアップなかさつない)があることや、住民からの希望、キックオフセミナー縮小に伴い、5月中の開始へ前倒しする。 ・寄附先に中札内高等養護学校を追加する。 ・まちなかキッチンスタジオにリーダーライターを新たに設置する。 ・まちなかキッチンスタジオを活用した栄養改善事業(カゴメ栄養セミナー、食育サポーター養成講座)	【教育委員会】 講師料 110千円 委託料 1,984千円 【福祉G】 ①地域まるごと元気アッププログラム ・まる元運動教室委託料 4,356千円(介護特会) ・お元気度測定会 440千円(介護特会) ・送迎業務委託 1,100円(介護特会) 【保健G】 ②七色献立プロジェクト12,945千円
R7		
進捗状況 実施済み 一部実施 未実施(検討中) 未着手		
今後の取組・方向性	【村長ヒアリング結果】 ・普段の生活で運動や活動等何もやっていない人に対しての取組を、継続して検討すること。 ・健康ポイントは、まる元やウォーキングへの参加の増加など、成果は出ている。コストがかかっても継続し、住民が楽しく続けられることを最優先にすること。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・意見等なし。	

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	1	3	「音まちプロジェクト」を核とし、北の大地ビエンナーレで蓄積した資源をつなぎ、身近に文化のあふれる暮らしの実現	担当課	教育委員会	
				まちづくり計画	50、51	ページ
実施状況				決算額		
R3	・村松健氏の道の駅コンサートとリサイタルを実施 ・フォルテ氏のコンサートを実施 ・和×洋スペシャルコンサートを実施 ・ファツィオリ試弾会を実施(2回) ・子どもアートプロジェクトはコロナウイルスの影響で中止			補助金 2,777,003円		
R4	・ジェイコブ・コーラー氏、マルティン・ガルシア氏、村松健氏のピアノコンサートを実施 ・図書館事業と連携し、子育て世代も参加しやすいコンサートを実施(おはなし音楽会) ・ファツィオリ試弾会を実施(ホール改修工事のため1回) ・子どもアートプロジェクトはコロナウイルスの影響で中止。代替企画として明和電機コンサートを開催 ・村民が企画する文化振興奨励事業の支援(広報折込、HP、SNSなど情報発信) ・次年度企画について、ピアノ・クラシックから幅を広げるため住民と意見交換実施			補助金 2,863,926円		
R5	・北海道歌旅座コンサートの開催 ・アレクセイ・グリニューク氏のピアノコンサートの開催 ・ピータン大道芸の開催 ・山崎バニラ活弁大絵巻の開催 ・時空ヲ旅スル音楽会の開催(共催事業) ・ファツィオリ試弾会の開催(2回) ・武蔵野美術大、昭和音楽大との連携による子どもアートプロジェクトの開催 ・村民が企画する文化振興奨励事業の支援(広報折込、HP、SNSなど情報発信)			補助金 5,558,639円		
R6	・サンドアート公演・体験会(予定) ・0歳からのオーケストラ(予定) ・ファツィオリ試弾会の開催(2回予定) ・文化月間事業で「ファツィオリの日」の開催(予定) ・帯広市民オペラの公開リハーサル開催協力(予定) ・武蔵野美術大、昭和音楽大との連携による子どもアートプロジェクトの開催(予定) ・図書館事業(おはなし音楽会)と連携し、子育て世代も参加しやすいコンサートを実施(予定) ・村民が企画する文化振興奨励事業の支援(広報折込、HP、SNSなど情報発信)			(予算額) 補助金 6,500千円		

R7		
進捗状況	実施済み・一部実施・未実施(検討中)・未着手	
今後の取組・方向性	【村長ヒアリング結果】 実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・意見等なし。	

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	1	4	「災害に強い村」を維持・推進する施策展開	担当課	総務G	
				まちづくり計画	73、74	ページ
実施状況				決算額		
R3	・広報誌の特集記事による防災情報の提供、避難行動基準変更後、内容更新した防災マップを配布。 ・各行政区への訪問説明等により、自主防災組織の設立を支援。 ・洪水を想定した総合防災訓練について、社会福祉協議会と連携しボランティアセンター設置訓練を行った。 ・感染症対策のためプライベートルームを購入。			・災害対策費 5,000千円		
R4	・指定避難場所である上札内交流館への非常用発電機設置。 ・広報誌による避難場所、避難準備等の防災情報の提供。 ・行政区に対し防災講座を実施し、自主防災組織の拡大を図る。 ・地震を想定した総合防災訓練について、消防・社会福祉協議会と連携して行う。 ・職員用ヘルメット、生理用品・おむつの購入。			・災害対策費 13,720千円		
R5	・指定避難所である中島農業センターへの非常電源切替盤、発電機の設置。 ・洪水を想定した総合防災訓練について、村民や小中学生と共同で実施。 ・行政区での防災推進活動に対して行政区特別活動交付金を交付。 ・行政側の訓練として災害初動訓練を実施。			・災害対策費 2,627千円		
R6	・給食センター食品保管用非常用発電機の購入。 ・地震を想定した総合防災訓練について、村民や小中学生と共同で実施。 ・行政区での防災推進活動に対して行政区特別活動交付金を交付。 ・冬期避難所用可搬型温風ジェットヒーターの購入。 ・行政側の訓練として厳寒時期の避難所設営訓練を実施。 ・災害時に非常用発電としても利用できる(PH)EV車の導入			・災害対策費 2,636千円 ・一般公用車管理費-備品購入費 5,061千円		
R7						
進捗状況		実施済み ・ 一部実施 ・ 未実施(検討中) ・ 未着手				
今後の取組・方向性		【村長ヒアリング結果】 ・実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・意見等なし。				

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	1	5	農村環境改善センター周辺ゾーンの福祉交流拠点化	担当課	福祉G 産業課	
				まちづくり計画	34、35、58、59	ページ
実施状況				決算額		
R3	【福祉G】 ・まる元運動教室はR2より体育館を使用していたが、参加者から利用しづらいとの声があり、R3年6月から改善センターへ場所を変更している。 ・社会福祉協議会の事業では、健康マージャンのみ改善センターを利用している。（マージャン卓等物品の置き場所があるため） 【産業課】 ・庁舎跡地及び改善センターを活用したまちなかのにぎわいづくりを行うため、整備の方針をまとめた。					
R4	【福祉G】 ・社会福祉協議会の事業では、健康マージャンのみ改善センターを利用している。 ・事務所の分散配置が終了し、保健センターの運動指導室が一般利用できるようになったことから、まる元運動教室は保健センターにおいて実施している。教室参加の前後に介護の相談や各手続き（給付金、福祉灯油など）に来られる方も多くみられた。 【産業課】 ・まちなかキッチンスタジオ建設に伴う、基本設計及び実施設計を行った。 ・農村環境改善センター及び周辺（外構）の活用方法等を含めた「まちなかキッチンスタジオ建設及び農村環境改善センター利活用に関する基本構想（案）」を作成した。			・委託料（キッチンスタジオ設計委託） 19,250千円		
R5	【福祉G】 ・まる元運動教室を保健センターで実施することで、各申請書の提出や相談など合わせて行うことができ利用者にとって利便性が良い。エアコン設置は9月末だったため猛暑への対応には間に合わなかったが、次年度以降に活用できる。 ・社会福祉協議会の給食交流会やサロンは、実施場所を保健センターからキッチンスタジオへ移すことを検討している。 【産業課】 ・まちなかキッチンスタジオ建設工事を行った。 ・まちなかキッチンスタジオ外構工事の設計委託を行った。 ・農村環境改善センターの活用方法、施設の修繕内容を決定した。			【産業課】 ・工事請負費（キッチンスタジオ建設工事） 325,710千円 ・委託料（工事監理） 7,370千円 ・委託料（外構設計） 8,030千円		

R6	【福祉G】 ・保健センターにエアコンが設置され快適な環境で運動を実施することができるため、まる元運動教室は保健センターを活用する。 ・社会福祉協議会の給食交流会やサロンは、実施場所を保健センターからキッチンスタジオへ移す予定。 ・改善センター改修後は、ファミリーサポートセンター事業の子どもの預かりや介護カフェで活用することを検討している。 【産業課】 ・指定管理者と利用方法等について協議し、多くの村民が利活用できるよう事業展開していく。 ・まちなかキッチンスタジオ外構工事を行う。 ・農村環境改善センターの暖房設備改修、内部改修を行うとともに、施設のLED化、エアコン取付を実施する。	【産業課】 ・キッチンスタジオ及び改善センター管理委託 22,971千円 ・工事請負費(キッチンスタジオ外構工事) 91,432千円 ・工事請負費(改善センター暖房設備改修工事) 5,940千円 ・工事請負費(改善センターLED化工事) 27,390千円
R7		
進捗状況	実施済み ・ 一部実施 ・ 未実施(検討中) ・ 未着手	
今後の取組・方向性	【村長ヒアリング結果】 ・一部実施とする。 ・キッチンスタジオについては、新たなビジネスモデルを提案する場所として、起業者が使えるような場所にしたい。その分衛生管理基準が厳しくなるなどの制約が発生するが、他の団体には趣旨を説明し、ご納得いただくしかないと考えている。色々なリスクも考えられるが、今はとにかく多くの方に利用いただき、宣伝していくこと。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・意見等なし。	

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	1	6	村の元気を維持する新たな分譲宅地の造成	担当課	総務G	
				まちづくり計画	62	ページ
実施状況				決算額		
R3	ヴィレッジときわ野分譲地売却に伴い、新たな分譲地整備のため地権者との協議を進めている。					
R4	ヴィレッジときわ野分譲地売却に伴い、新たな分譲地整備のため地権者との協議を進めている。					
R5	ときわ野分譲地の残地において、新たに小規模の宅地分譲地を造成。8筆の宅地分葉を開始。					
R6	街中村有地における小規模宅地分譲の可否を検討する。					
R7						
進捗状況		実施済み ・ 一部実施 ・ 未実施(検討中) ・ 未着手				
今後の取組・方向性		【村長ヒアリング結果】 ・実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・意見等なし。				

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	1	7	新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な遂行	担当課	保健G	
				まちづくり計画	38、39	ページ
実施状況				決算額		
R3	・中札内村立診療所と打ち合わせ・協議をしながら連携し、接種体制を構築した。 ・コロナワクチン専属の会計年度任用職員を雇用し、人員確保に努めた。 ・福祉Gと連携をし、配慮が必要な方への個別支援を実施した。(高齢者、障がい者) ・ワクチン接種会場への交通手段がない高齢者の方に対し、バスを借り上げ送迎を行った。 ・予約の混乱を避けるため、LINE予約システムを導入し、予約の利便性の向上を図った。 ・接種に必要な備品を購入した。急な停電に対応できるよう、ワクチンのディープフリーザーに蓄電池を取り付けた。 ・地域住民からの意見や課題を踏まえ、プライバシーに配慮をした接種会場の環境整備を行った。 ・小児のワクチン接種について、接種前に相談できる体制を整えたのと同時に、接種時も医師からの説明・診察を丁寧に行う体制を整えた。 ・コロナワクチンについての情報発信を広報、HP、SNSを用いて適宜実施をした。転入者への周知も、住民課に依頼し実施をした。 接種率…初回(12歳以上):93.4%、3回目(12歳以上):89.0%、小児初回(5-11歳):43.0%			(歳出) ・新型コロナワクチン接種費用 18,666千円 ・接種体制確保委託等 30,179千円 (歳入) ・新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金 18,666千円 ・新型コロナウイルスワクチン接種接種体制確保事業費補助金 30,179千円		
R4	・R3年度に引き続き、追加(3・4回目)接種に向けた接種体制を診療所と連携し、接種体制を構築する。 ・コロナワクチン専任の会計年度任用職員を引き続き雇用。福祉Gと連携し要配慮者の対応を実施する。 ・接種券等印刷・封入・封緘業務を民間業者へ委託し作成を行う。 ・4回目接種時も交通手段がない高齢者に対し、送迎を行う。 ・乳幼児の接種(生後6ヶ月～4歳11か月)の開始に伴い、診療所と連携し接種しやすい体制を整えた。 (火曜日13:30～ 16:30～)			(歳出) ・新型コロナワクチン接種費用 11,612千円 ・接種体制確保委託等 23,044千円 (歳入) ・新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金11,612千円 ・新型コロナウイルスワクチン接種接種体制確保事業費補助金23,044千円		
R5	国は春夏接種を5月8日～開始している。村では診療所と協議し、毎週金曜日に更別診療所の医師を派遣してもらい、接種体制を構築した。村の開始は5月12日である。 接種日65歳以上の方へは接種日を割り当てし、案内をしている。当日連絡なしに来所がなかった人へ、後日連絡し、受け忘れがないかを確認している。 ・使用ワクチンについて、接種前に十分に周知する(広報、案内文書に加え、当日受付窓口でも再度確認をしている)			(歳出) ・当初予算:8,487千円 ・3号補正:18,957千円 (歳入) ・新型コロナウイルスワクチン国庫負担金:8,016千円 ・新型コロナウイルスワクチン接種接種体制確保事業費補助金:16,365千円		
R6	臨時接種は終了し、B類の定期接種となるため、10月頃からの接種に向けた制度設計をおこなう。			9月補正		
R7						
進捗状況		実施済み・一部実施・未実施(検討中)・未着手				
今後の取組・方向性		【村長ヒアリング結果】 ・実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・意見等なし。				

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	2	1	ふるさと納税制度の徹底活用 ①寄附者との絆強化で関係人口10万人創出、②中札内村特産品の全国発信推進 ③クラウドファンディングを活用した起業支援	担当課	企画財政G	
				まちづくり計画	30、31、58、59	ページ
実施状況				決算額		
R3	・返礼品の写真や説明文などの見直しと改善。 ・掲載サイトを2社追加した。(JAL、ふるなび) ・新たな返礼品の追加。 ・クラウドファンディング(冷燗工房建築プロジェクト)の目標額達成。 ・検索広告やバナー広告などのWEB広告を年末に実施。 ・事務ミス抑制に向けた取組を実施。 (始業前ミーティング、情報共有の徹底、役割と責任者の配置、マニュアルの作成など) ・寄附額1,107,135,074円、寄附件数102,721件を達成。			・報酬 12,565千円 ・報償費 336,400千円 ・旅費 100千円 ・需用費 3,588千円 ・役務費 239,764千円 ・委託料 16,845千円 ・使用料及び賃借料 64,665千円 ・備品購入費 56千円		
R4	・返礼品の写真や説明文などを変更してより魅力的な内容とした。 ・事業者を5つ、返礼品は約80品を新規追加した。 ・道の駅へのふるさと納税に関する掲示や道の駅フェアでの宣伝活動を実施した。 ・クラウドファンディングを1件実施して、目標額を達成した。 ・先進自治体である白糠町を視察し、通常業務の見直しにつなげた。			・報酬 11,982千円 ・報償費 398,441千円 ・旅費 50千円 ・需用費 4,115千円 ・役務費 268,210千円 ・委託料 29,071千円 ・使用料及び賃借料 71,905千円		
R5	・委託費用の削減等により経費率を50%以内に抑えた。 ・返礼品の写真や説明文などを見直した。 ・40品超の新規返礼品を掲載した。 ・クラウドファンディングを2件実施。 ・SNSによる情報発信を実施。 ・食と観光プロモーション事業によりファンを獲得した。			・報酬 6,436千円 ・報償費 210,994千円 ・旅費 208千円 ・需用費 2,853千円 ・役務費 101,334千円 ・委託料 19,409千円 ・使用料及び賃借料 58,943千円		
R6	・経費率を50%以内に抑えるための取組を継続。 ・返礼品の写真や説明文などの見直しと改善。 ・新規の事業者と返礼品を開発する。(返礼品50品以上) ・クラウドファンディングの実施。 ・メルマガやSNSによる情報発信。 ・中間業者との連携によるPR強化。写真や説明文の改善。			・報酬 8,494千円 ・職員手当等 979千円 ・報償費 21,000千円 ・旅費 240千円 ・需用費 3,093千円 ・役務費 111,787千円 ・委託料 41,748千円 ・使用料及び賃借料 53,358千円		

R7		
進捗状況	実施済み ・ 一部実施 ・ 未実施(検討中) ・ 未着手	
今後の取組・方向性	【村長ヒアリング結果】 ・実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・意見等なし。	

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号				2		2		「元気な畑づくり事業」見直しなど一次産業支援の拡充		担当課		産業課			
										まちづくり計画		52、53、54		ページ	
実施状況										決算額					
R3		・客土12件、石礫除去18件、植栽0件 ・浸透層設置1件・1基 ・アンケート調査を実施。回収率は83.6%(136人中、116人回答) ・アンケート調査等の検討資料を基に、令和4年度実施に向けて事業メニューを大幅に見直しするとともに、元気な農業サポート事業を新設した。								・補助金 客土、石礫除去、植栽		3,404千円			
										・補助金 浸透層設置		300千円			
R4		・客土6件、石礫除去13件、植栽0件、ストーンクラッシャー1件、浸透層修繕2件、風倒木処理7件、土壌診断2件、廃プラスチック処理0件、浸透層設置4件・5基、取付道路設置1件 ・業者や利用者からの意見を聞き取り、適正な補助要件及び補助額となるように事業メニューの検証を行い、メニューの調整を行った。								・補助金 客土、石礫除去等		3,114千円			
										・補助金 浸透層設置及び取付道路設置		624千円			
R5		・新規メニューとして、農産物堆肥場の設置及び修繕に対する補助を追加した。 ・時勢に併せて客土及び石礫除去の補助額を増加させた。 ・活用しづかった廃プラスチック処理の補助要件及び補助額を変更した。 ・補助要件及び補助額の検証を行い、次年度に向け必要な見直しを行った。								・補助金 客土、石礫除去等		3,156千円			
										・補助金 廃プラスチック処理		928千円			
										・補助金 集積場(設置・修繕)		2,100千円			
R6		・利用が低調であった土壌分析については、個人への補助から農協への補助に変更した。 ・引き続き補助要件及び補助額の検証を行う。								・補助金 元気な農業サポート事業		11,200千円			
R7															
進捗状況		実施済み・一部実施・未実施(検討中)・未着手													
今後の取組・方向性		【村長ヒアリング結果】 ・実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・中札内村ならではの農業の特色や魅力によって外部から人材が集まるようにしてほしい。													

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	2	3	道の駅の機能強化による観光ハブ戦略の推進	担当課	産業課	
				まちづくり計画	60、61	ページ
実施状況				決算額		
R3	・道の駅改修工事を行った。 【改修内容】(観光協会事務所をカントリープラザへ移転、休憩・多目的スペースの設置(キッチンカー等で使用)、屋内遊具の設置、ベビーケアルームの設置、屋外イベントスペースの設置、屋外トイレの洋式化他改修、カンブラ外壁・屋根改修、エアコン設置、電気自動車用急速充電器の設置 ほか)			・道の駅改修工事89,837千円(建築主体44,517千円、電気設備30,030千円、機械設備15,290千円) ・屋外トイレ改修1,936千円、カンブラ調理器具移設1,246千円、カンブラ情報端末移設418千円、屋内立体遊具設置8,800千円、授乳室設置3,839千円、事務室・休憩室備品4,345千円、電気自動車用急速充電器設置5,750千円		
R4	・コロナ後の観光需要に対応するため、地域おこし協力隊活用や、観光協会のマーケティング力や企画立案能力などの強化を図る。 ・各種イベントや観光施設の状況等について、随時HP・SNSを活用し情報発信。			・道の駅管理運営 14,864千円		
R5	・コロナ後の観光需要に対応するため、観光協会の組織強化を図りマーケティング力や企画立案能力などの向上を図る。 ・引き続き道の駅を拠点とする観光協会の情報発信機能の強化を図る。			・道の駅管理運営 15,544千円		
R6	・コロナ後の観光需要に対応するため、観光協会の組織強化を図りマーケティング力や企画立案能力などの向上を図る。 ・引き続き道の駅を拠点とする観光協会の情報発信機能の強化を図る。			・道の駅管理運営 17,461千円		
R7						
進捗状況		実施済み ・ 一部実施 ・ 未実施(検討中) ・ 未着手				
今後の取組・方向性		【村長ヒアリング結果】 ・実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・意見等なし。				

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	2	4	「日高山脈襟裳十勝国立公園(仮称)」指定の戦略資源化	担当課	産業課	
				まちづくり計画	60、61	ページ
実施状況				決算額		
R3	・日高山脈国立公園化PR事業実行委員会の設置により、各種PR事業を行った。 ・十勝6市町村による日高山脈襟裳国定公園の国立化に向けた広域PR事業を実施した。 ・日高東部・十勝南部広域連携推進協議会による観光資源の掘り起こし及びブラッシュアップ等(日高山脈襟裳国定公園の国立公園化を契機とした広域周遊観光受入体制整備事業) ・南十勝5町村の観光協会が中心となって、アクティビティパンフレットの更新を図った。			・国立公園化PR事業実行委員会補助金 490千円 ・十勝6市町村広域PR事業負担金 60千円 ・日高東部・十勝南部広域観光振興事業補助金 50千円		
R4	・日高山脈国立公園化PR事業実行委員会の継続設置により、各種PR事業を行った。 ・十勝6市町村による日高山脈襟裳国定公園の国立化に向けた広域PR事業の実施。 ・日高東部・十勝南部広域連携推進協議会による観光資源の掘り起こし及びブラッシュアップ等。(日高山脈襟裳国定公園の国立公園化を契機とした広域周遊観光受入体制整備事業) ・モンベルの連携事業の取り組み。			・国立公園化PR事業実行委員会補助金 2,267千円 ・十勝6市町村広域PR事業負担金 60千円 ・日高東部・十勝南部広域観光振興事業補助金 50千円		
R5	・日高山脈国立公園化PR事業実行委員会を設置し、北海道大学山岳部と連携する中で各種PR事業の企画運営を行った。 ・十勝6市町村による日高山脈襟裳国定公園の国立化に向けた広域PR事業の実施。(日高山脈国立公園化推進事業) ・日高東部・十勝南部広域連携推進協議会による観光資源の掘り起こし及びブラッシュアップ等(日高山脈襟裳国定公園の国立公園化を契機とした広域周遊観光受入体制整備事業) ・モンベルの連携事業の取り組み。 ・十勝日高山脈観光連携協議会による、広域連携による観光誘客の実施。			・国立公園化PR事業実行委員会補助金 1,378千円 ・日高山脈国立公園化推進事業負担金 60千円 ・日高東部・十勝南部広域観光振興事業補助金 50千円 ・十勝日高山脈観光連携協議会負担金 146千円		
R6	・日高山脈国立公園化PR事業実行委員会を設置し、北海道大学山岳部と連携する中で各種PR事業の企画運営を行う。 ・十勝6市町村による日高山脈襟裳国定公園の国立化に向けた広域PR事業の実施。(日高山脈国立公園化推進事業) ・日高東部・十勝南部広域連携推進協議会による観光資源の掘り起こし及びブラッシュアップ等(日高山脈襟裳国定公園の国立公園化を契機とした広域周遊観光受入体制整備事業) ・モンベルの連携事業の取り組み。 ・十勝日高山脈観光連携協議会による、広域連携による観光誘客の実施。 ・国立公園指定を受けて村民祝賀会及び啓蒙冊子を発行する。 ・国立公園指定後の事業について観光協会と協議をすすめる。			・国立公園化PR事業実行委員会補助金 3,000千円 ・日高山脈国立公園化推進事業負担金 60千円 ・日高東部・十勝南部広域観光振興事業補助金 50千円 ・十勝日高山脈観光連携協議会負担金 146千円		

R7		
進捗状況	実施済み ・ 一部実施 ・ 未実施(検討中) ・ 未着手	
今後の取組・方向性	【村長ヒアリング結果】 ・一部実施とする。 ・PR実行委員会がなくなった後の活動(有償ガイドなど)について、他自治体を参考にして検討すること。 ・山岳センターはいつまでにリニューアルするのかを明確にすること。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・日高山脈が国立公園になったことでインバウンド対策が必要。	

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号				2	5	中札内村のブランド価値を高めるイベントの構築	担当課	企画財政G 産業課	
							まちづくり計画	60、61	ページ
実施状況							決算額		
R3	【企画財政G】 ・人気観光地である六花の森でのイベント「ロッカノヨル」の開催に向けて、実行委員会の中で企画内容を検討した。 ・令和3年度は企画の一部である光の切り絵の投影テストを行った。(開催自体は新型コロナの影響により中止) 【産業課】 ・地場農畜産物の使用基準を満たした食の応援団のお店スタンプラリー事業を展開して地場農畜産物の消費拡大とPRを実施。令和3年度は10周年企画として当選者を増やした結果、応募者数が過去最高となった。(ラリー応募者数984通) ・ツイッターを活用し、SNSキャンペーン事業や食の推進パートナー事業の宣伝を実施し、中札内産の良質な農畜産物の消費拡大とPRを実施。(＃なかさつないを食べよう ツイート数80回) ・Twitterのフォロワー数を増やし、宣伝効果を高めるため、「フォロー＆リツイート」キャンペーンを実施。(フォロワー数4,454名の増) ・令和3年度に創設したにぎわいづくり起業者等支援事業補助金により6次産業化を支援する。						【企画財政G】 ・補助金 483千円 【産業課】 ・報償費 518千円(スタンプラリー・SNS賞品) ・需用費 11千円(消耗品) 297千円(印刷製本費)		
R4	【企画財政G】 ・六花の森でイベント「ロッカノヨル」を初開催し、4千人以上の方が来場した。 ・村民参加企画である手作りライトは、保育園や学校、恵津美ハイツやサロンなど各所に協力いただき、270個以上のライトを当日設置した。 ・Instagramでのフォロワーは300人を超え、広く情報を拡散することができた。 【産業課】 ・中札内産品消費拡大のため、村が定めた地場農畜産物の使用基準を満たした店舗を対象に「食の応援団のお店スタンプラリー」事業を実施。令和4年度は11年目を迎え、A賞の当選者30名を増やすなど見直しを行った結果、応募者数が過去最高となった。(ラリー応募者数1,008通) ・ツイッターを活用し、「SNSキャンペーン」や「食の応援団のお店スタンプラリー」の宣伝を実施。また、中札内産の良質な農畜産物や食の応援団のお店の紹介を実施。(＃なかさつないを食べよう ツイート数79回) ・Twitterのフォロワー数を増やし、宣伝効果を高めるため、「フォロー＆リツイート」キャンペーンを実施。(フォロワー数9,978名の増)						【企画財政G】 ・補助金 5,747千円 【産業課】 ・報償費 1,064千円(スタンプラリー・SNS当選賞品) ・需用費 11千円(消耗品) 284千円(印刷製本費)		

R5	【企画財政G】 ・六花の森で第2回目の「ロッカノヨル」を開催し、約1500名が来場した。 ・チケット事前購入者のみを入場可能にしたことで、バスの運行やスカイランタン®の配付などにおいて混雑緩和ができた。 【産業課】 ・食の応援団のお店登録要領を見直し、新たに7店舗登録。 ・消費拡大とPRのため、村が定めた地場農畜産物の使用基準を満たした店舗を対象に「食の応援団のお店スタンプラリー」事業を今年度も実施。押印欄を5か所に増やし、S賞を設定した結果、過去最高の応募数(1,271通)となった。(計23店舗参加) ・X(旧ツイッター)を活用し、中札内産の良質な農畜産物や食の応援団のお店の紹介を引き続き実施。 ・観光協会と調整を行い、産業課では#ハッシュタグキャンペーンについては実施しないこととした。また、「フォロー&リポスト」キャンペーンは7月・10月・12月の3回に分けて実施した。(8,391フォロワー増加)	【企画財政G】 ・補助金 7,848千円 【産業課】 ・報償費 1,033千円(スタンプラリー・SNS賞品) ・需用費 14千円(消耗品) 324千円(印刷製本費)
R6	【企画財政G】 ・ロッカノヨルは令和5年度で終了。 【産業課】 ・野うさぎキッチンなど令和5年度にオープンした店舗に声掛けを行い、食の応援団のお店に4店舗新規登録した。 ・消費拡大とPRのため、村が定めた地場農畜産物の使用基準を満たした店舗を対象に「食の応援団のお店スタンプラリー」事業を今年度も実施。(計24店舗参加) ・日高山脈襟裳十勝国立公園指定の機運を高めるため、パンフレットに山の紹介欄を設け、スタンプラリーの賞に山の名前を採用するなど観光客をはじめ目につきやすい工夫をした。 ・観光協会と調整を行い、「フォロー&リポスト」キャンペーンは6月と12月に実施する。	【産業課】 ・報償費 819千円(スタンプラリー・SNS賞品) ・需用費 15千円(消耗品) 398千円(印刷製本費)
R7		
進捗状況	実施済み ・ 一部実施 ・ 未実施(検討中) ・ 未着手	
今後の取組・方向性	【村長ヒアリング結果】 ・実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・意見等なし。	

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	2	6	SNSを活用した組織的な情報発信体制の構築	担当課	総務G	
				まちづくり計画	28	ページ
実施状況				決算額		
R3	・7月 SNS活用に関する研修会の実施 ・8月 情報化検討委員会の発足 SNSの活用に係る、運用方法等の検討 ・10月 公式LINEによる情報発信の開始 ・11月 各課におけるSNS(Facebook、Twitter、Instagram)での配信開始			・委託料 973千円(防災無線保守) ・使用料及び賃借料 198千円(メール配信システム使用料) ・使用料及び賃借料 330千円(LINE配信システム使用料)		
R4	・SNSの運用方法についての検討や見直し 各課による迅速な情報発信と内容精査、各SNSの特性に応じた使用の仕方 ・次年度に向けた情報共有と協議 メール配信システムの検討(LINEメール1本化) ※メール配信システムの更新で使用料が増額するため			・委託料 973千円(防災無線保守) ・使用料及び賃借料 198千円(メール配信システム使用料) ・使用料及び賃借料 660千円(LINE配信システム使用料)		
R5	・各課によるSNS(Facebook、X、Instagram)での情報発信			・委託料 1,232千円(防災無線保守) ・使用料及び賃借料 198千円(メール配信システム使用料) ※LINE配信 1320千円(コロナ対策費)		
R6	・各課によるSNS(Facebook、X、Instagram)での情報発信			・委託料 1097千円(防災無線保守) ・使用料及び賃借料 1,518千円(メール・LINE)		
R7						
進捗状況		実施済み・一部実施・未実施(検討中)・未着手				
今後の取組・方向性		【村長ヒアリング結果】 ・実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・意見等なし。				

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	2	7	コロナ禍を力強く乗り越える経済振興策の展開	担当課	産業課	
				まちづくり計画	58、59	ページ
実施状況				決算額		
R3	コロナ禍を乗り越えるため、村内事業者等に対して各種事業実施を行った。 ・商工業プロモーション推進事業 ・宿泊助成事業 ・ワーケーション普及促進事業 ・プレミアム商品券事業 ・商工業家賃等助成事業 ・飲食店スタンプラリー事業 ・飲食業光熱水費助成事業 ・豆類自動包装機導入事業			・プロモーション 3,244千円 ・宿泊助成 2,551千円 ・ワーケーション 224千円 ・プレミアム商品券 9,287千円 ・家賃助成 1,224千円 ・スタンプラリー 505千円 ・光熱水費助成 3,747千円 ・自動包装機導入 30,000千円		
R4	依然として続くコロナ禍を乗り越えるため、村内事業者等に対して各種事業実施を行った。 ・商工業プロモーション推進事業 ・サテライトオフィス設置推進事業 ・宿泊助成事業 ・ワーケーション普及促進事業 ・プレミアム商品券事業 ・運送事業者臨時支援金事業 ・豆類自動選別機導入事業 ・農産物販売施設非対面式レジ導入事業			・プロモーション 3,471千円 ・サテライトオフィス 600千円 ・宿泊助成 2,184千円 ・ワーケーション 545千円 ・プレミアム商品券 9,019千円 ・運送事業者臨時支援金 4,872千円 ・選別機導入 19,500千円 ・レジ導入 2,871千円		
R5	アフターコロナを見据え、村内事業者等に対して各種事業実施を行う。つた。 ・新商工業プロモーション推進事業 ・サテライトオフィス設置推進事業 ・ワーケーション普及促進事業 ・地域応援プレミアム商品券事業			・プロモーション 143千円 ・サテライトオフィス 600千円 ・ワーケーション 535千円 ・プレミアム商品券 6,614千円		
R6	アフターコロナへの対応として、村内事業者等に対して各種事業を継続する。 ・新商工業プロモーション推進事業(商工会主体に移行) ・サテライトオフィス設置推進事業 ・ワーケーション普及促進事業			・プロモーション 1,500千円(経営改善普及事業補助金内) ・サテライトオフィス 600千円 ・ワーケーション 800千円		

R7		
進捗状況	実施済み 一部実施 ・ 未実施(検討中) ・ 未着手	
今後の取組・方向性	【村長ヒアリング結果】 ・実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・意見等なし。	

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	3	1	ICTの徹底活用で個別最適化した学びの推進	担当課	教育委員会	
				まちづくり計画	45、46、47	ページ
実施状況				決算額		
R3	デジタル教科書(中小 音楽、上小 理科、中中 国語) デジタルドリル、AIドリル(EdTech導入補助金活用)の検証、オンライン実践、ICT活用による授業支援、学校情報機器【タブレットPC】活用を実施している。			・消耗品 251,200円(学校等における感染症対策等支援事業) 70,186円(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) 694,848円(感染症対策用消耗品) ・使用料 48,510円(授業目的公衆送信補償金) 1,001,000円(有害サイト除去フィルタ) 132,000円(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) 264,000円(デジタル教材使用料) ・備品 3,482,820円(学校等における感染症対策等支援事業) 626,956円(感染症対策備品) 39,600円(教材備品)		
R4	・タブレットPCの活用とオンライン授業の実践 ・デジタル教科書の活用(小学校:英語・音楽【5・6年】、中学校:英語・保健体育【1・2年】・音楽【3年】) ・デジタルドリルの導入(小学校:スマイルネクスト、中学校:すららドリル) ・各学校ICT担当教諭との活用研究 ・大型テレビの電子黒板化(試験的に中小普通教室に先行導入) ・GIGAスクール運営支援センターによる支援・相談対応の整備 ・小中9年間の体系的な情報モラル指導計画の作成 ・中札内村教育研究所による「村内小・中学校ICT活用事例集」の作成			消耗品 415,000円(学校のICTを活用した授業環境高度化推進事業) 修繕料 577,750円(上小 無線LAN光回線対応) 使用料 1,904,452円(デジタル教材) 49,401円(授業目的公衆送信補償金) 1,001,000円(有害サイト除去フィルタ) 委託料 2,939,200円(GIGAスクール運営支援センター整備事業) 備品 64,240円(学校のICTを活用した授業環境高度化推進事業)		
R5	・タブレットPCの活用とオンライン授業の実践 ・デジタル教科書(小学校:英語・算数【5・6年】、中学校:英語【1・2・3年】) ・デジタルドリルの活用(小学校:スマイルネクスト、中学校:すららドリル) R6からのデジタルドリル統一を検討 ・大型テレビの電子黒板化(中小特別教室、上小、中中) ・GIGAスクール運営支援センターによる支援・相談対応の整備 ・R6教職員用PC更新の検討			使用料 1,904,452円(デジタル教材) 47,652円(授業目的公衆送信補償金) 1,001,000円(有害サイト除去フィルタ) 委託料 2,943,600円(GIGAスクール運営支援センター整備事業) 備品 1,609,300円(電子黒板化)		
R6	・タブレットPCの活用とオンライン授業の実践 ・デジタル教科書(小学校:英語・算数【5・6年】、中学校:英語【1・2・3年】) ・デジタルドリルの活用(小学校:スマイルネクスト、中学校:スマイルネクスト) R6から統一 ・GIGAスクール運営支援センターによる支援・相談対応の整備 ・教職員用PCの更新 ・R7児童生徒用タブレット更新に関する検討			(予算額) 使用料 2,186千円(デジタル教材) 54千円(授業目的公衆送信補償金) 1,002千円(有害サイト除去フィルタ) 委託料 2,944千円(GIGAスクール運営支援センター整備事業) 償還金 43千円(債務負担行為限度額37,195千円)		

R7		
進捗状況	実施済み ・ 一部実施 ・ 未実施(検討中) ・ 未着手	
今後の取組・方向性	【村長ヒアリング結果】 ・実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・意見等なし。	

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	3	2	英語をはじめとする検定受験補助の拡充	担当課	教育委員会	
				まちづくり計画	45、46、47	ページ
実施状況				決算額		
R3	英語検定料補助 68件 60人 小学生18人、中学生33人、高校生9人			英語検定補助金 261,980円		
R4	検定チャレンジ受験料補助 100件(英語検定62件、漢字検定19件、算数・数学検定19件) 小学生41件、中学生53件、高校生6件 (助成内容の見直し) 新たに漢字検定と算数・数学検定を対象に追加したほか、交付回数を同一級に対して1回のみから年度内3回までに拡充し同一級の再チャレンジを可能とした。(3回のうち1回は英語検定)			検定チャレンジ受験料補助金 323,500円		
R5	検定チャレンジ受験料補助 174件(英語検定101件、漢字検定46件、算数・数学検定27件) 小学生88件、中学生74件、高校生12件 (助成内容の見直し) 3回のうち1回は英語検定としていたが、中学生で英語検定3級合格者の場合は、他の検定でも可能とした。			検定チャレンジ受験料補助金 525,350円		
R6	検定チャレンジ受験料補助(英語検定、漢字検定、算数・数学検定) (助成内容の見直し) 回数制限を撤廃し、何度でも受験できるようにした。 学校申込み分は補助金申請不要とした。(高校や塾については今までどおり申請が必要)			(予算額) 役務費 825千円 補助金 150千円		
R7						
進捗状況		実施済み 一部実施 ・ 未実施(検討中) ・ 未着手				
今後の取組・方向性		【村長ヒアリング結果】 ・実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・検定料の助成や支援員の配置等によって、子どもたちの意欲向上につながり、教育が行き届いていると感じる。				

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	3	3	高校生の就学支援事業の新設	担当課	教育委員会	
				まちづくり計画	45、46、47	ページ
実施状況				決算額		
R3	対象者 92人 申請90人、辞退2人			高等学校就学支援対策事業補助金 10,800,000円		
R4	対象者 100人 申請98人、辞退2人			高等学校就学支援対策事業補助金 11,650,000円		
R5	対象者 107人 申請107人、辞退0人 高校入学時の負担軽減のため、新たに入学祝い金(50,000円)を交付(対象:新1年生42人)			高等学校就学支援対策事業補助金 12,750,000円 高校入学祝い金 2,100,000円		
R6	対象者 111人(予算ベース)、入学祝金38人			(予算額) 高等学校就学支援対策事業補助金 13,320千円 高校入学祝い金 1,900千円		
R7						
進捗状況		実施済み・一部実施・未実施(検討中)・未着手				
今後の取組・方向性		【村長ヒアリング結果】 ・実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・意見等なし。				

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	3	4	生涯学習を深化させる「学び」の提供	担当課	教育委員会	
				まちづくり計画	48	ページ
実施状況				決算額		
R3	・自主企画講座に対する助成(2件) ・生涯学習講座の開催(2件) ・ポロシリ大学…定例授業の開催(2回) ※コロナウイルスの影響のため回数縮小 クラブ活動を実施			補助金	20千円	
				講師料	5千円	
				講師料	515千円	
R4	・自主企画講座に対する助成(7講座) ・生涯学習講座の開催(4講座) ・ポロシリ大学…定例授業の開催(8回)、クラブ活動の実施(7クラブ)、更別村高齢者大学との文化交流 ポロシリ大学の新たなクラブ活動の設立について相談あり ・高校生、大学生への体験学習機会の提供(ボランティアサブリダー)			補助金	60,000円(村内講師3件、村外講師4件)	
				講師料	30,000円(村内講師2件、村外講師2件)	
				講師料	590,000円	
R5	・自主企画講座・事業に対する助成(8講座) (補助金区分の見直し 文化振興奨励→社会教育活動振興助成拡大) ・生涯学習講座の開催(4講座予定) ・ポロシリ大学…定例授業の開催、クラブ活動の実施(8クラブ:R5ダンススポーツクラブ新設) 更別村高齢者大学との交流 ・高校生、大学生への体験学習機会の提供(学生ボランティア)			(予算額)		
				補助金	210,467円	
				講師料	40,000円(村内講師 5千円 村外講師 10千円)	
				講師料	800,000円	
R6	・自主企画講座・事業に対する助成(補助金区分の見直し 文化振興奨励→社会教育活動振興助成拡大) ・生涯学習講座の開催(4講座予定) ・ポロシリ大学…定例授業の開催、クラブ活動の実施(7クラブ:舞踊クラブR5で終了) 更別村高齢者大学との交流 R6新規:特別授業(一般公開授業)の開催、検定受験の取組 ・高校生、大学生への体験学習機会の提供(ボランティアサブリダー) ※謝礼単価の見直し(25年以上ぶり)			(予算額)		
				補助金	300千円	
				講師料	80千円(村内講師 6千円 村外講師 12千円)	
				講師料	1,454千円	
R7						
進捗状況		実施済み・一部実施・未実施(検討中)・未着手				
今後の取組・方向性		【村長ヒアリング結果】 ・実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・意見等なし。				

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	3	5	山村留学制度を活用した学びの充実と地域の活性化	担当課	教育委員会	
				まちづくり計画	45、46、47	ページ
実施状況				決算額		
R3	山村留学生3人受入 1人修了、2人転出。 6事業実施。 機関紙発行、SNSによる情報発信。 茶話会の開催。			1,055,348円 全国山村留学協会負担金 50,000円 山村留学推進協議会補助金 195,348円 山村留学生補助金 810,000円		
R4	山村留学生3世帯5人受入(5人次年度も継続) 山村留学推進協議会による受入支援 (交流事業、広報発行・instagramによる情報発信、茶話会による相談対応など) 山村留学世帯向け住宅として、上札内東団地1戸を所管換えして改修(R5から使用)			計1,951,758円 全国山村留学協会負担金 50,000円 山村留学推進協議会補助金 401,758円 山村留学生補助金 1,500,000円		
R5	山村留学生4世帯6人受入、継続3世帯5人受入(合計7世帯11人) 山村留学推進協議会による受入支援 (交流事業、広報発行・instagramによる情報発信、茶話会による相談対応など) 住宅確保のため、ポロシリ福祉会から旧かしわ荘を借用(R5のみ)			計3,879,926円 全国山村留学協会負担金 50,000円 山村留学推進協議会補助金 919,926円 山村留学生補助金 2,910,000円		
R6	山村留学生2世帯4人受入、継続2世帯3人受入(合計4世帯7人) 山村留学推進協議会による受入支援 (交流事業、広報発行・instagramによる情報発信、茶話会による相談対応など) 移住相談会(東京)等へ参加し、山村留学PRと相談対応を実施 ※R6から住宅は徒歩圏内のみとすることで協議会で確認済み			(予算額) 計2,328千円 全国山村留学協会負担金 50千円 山村留学推進協議会補助金 538千円 山村留学生補助金 1,640千円		
R7						
進捗状況		実施済み 一部実施 ・ 未実施(検討中) ・ 未着手				
今後の取組・方向性		【村長ヒアリング結果】 ・実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・山村留学の活動状況について、上札内地域だけでなく全村民に対してもっと周知すべき。 ・山村留学は、引き続き全国から人を集められるよう周知を頑張ってほしい。また、上札内の子どもがいなくなった後の対応が課題。				

村長公約(2期目)の進捗管理表

公約番号	3	6	コロナ禍でも停滞させない学校・社会教育の実現	担当課	教育委員会	
				まちづくり計画	45、46、47、48	ページ
実施状況				決算額		
R3	・地域協働型学校づくり協議会の開催(3回) ・教育講演会の実施 ・通学路点検、中札内小学校の南門の設置 ・デジタル教科書(中小 音楽、上小 理科、中中 国語) ・デジタルドリル・AIドリル(EdTech導入補助金活用)の検証、オンライン実践、ICT活用による授業支援、学校情報機器【タブレットPC】活用を実施している。			・交付金 568千円 ・消耗品 251,200円(学校等における感染症対策等支援事業) 70,186円(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) 694,848円(感染症対策用消耗品) ・使用料 48,510円(授業目的公衆送信補償金) 1,001,000円(有害サイト除去フィルタ) 132,000円(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) 264,000円(デジタル教材使用料) ・備品 3,482,820円(学校等における感染症対策等支援事業) 626,956円(感染症対策備品) 39,600円(教材備品)		
R4	・地域協働型学校づくり協議会の開催(3回)、教育講演会・研修会の実施、通学路点検など ・タブレットPCの活用とオンライン授業の実践 ・ICT教育の推進(デジタル教科書やデジタルドリルの活用、活用事例集の作成等) ・GIGAスクール運営支援センターによる指導面及び技術面への支援・相談対応の実施 ・大学生等生活支援臨時給付金(1人50,000円)の交付 ※国の交付金を活用しR4年度のみ実施 ・学校給食費の保護者負担軽減対策(公費負担 約300万円) ・コロナ禍運動不足解消に向けての運動教室			・交付金 662,264円(CS) ・消耗品 415,000円(学校のICTを活用した授業環境高度化推進事業) ・修繕料 577,750円(上小 無線LAN光回線対応) ・使用料 1,904,452円(デジタル教材) 49,401円(授業目的公衆送信補償金) 1,001,000円(有害サイト除去フィルタ) ・委託料 2,939,200円(GIGAスクール運営支援センター整備事業) ・備品 64,240円(学校のICTを活用した授業環境高度化推進事業) ・補助金 3,450,000円(大学生等生活支援臨時給付金)		
R5	・地域協働型学校づくり協議会の開催(3回)、教育講演会・研修会の実施、通学路点検など ・タブレットPCの活用とオンライン授業の実践 ・ICT教育の推進(デジタル教科書やデジタルドリルの活用、電子黒板化等) ・GIGAスクール運営支援センターによる指導面及び技術面への支援・相談対応の実施 ・高等学校就学支援対策事業補助金に入学祝い金(新1年生に50,000円)を新設 ・学校給食費の保護者負担軽減対策(公費負担継続) ・自主的な社会教育事業への助成拡大 ・スポーツ大会、文化大会等の参加助成内容の拡充			・交付金 1,060,257円(CS) ・使用料 1,904,452円(デジタル教材) 47,652円(授業目的公衆送信補償金) 1,001,000円(有害サイト除去フィルタ) ・委託料 2,943,600円(GIGAスクール運営支援センター整備事業) ・備品 1,609,300円(電子黒板化) ・補助金 2,100,000円(高校生入学祝い金分) 3,081,197円(スポーツ振興奨励事業:大会参加) 113,914円(文化振興奨励事業:大会参加)		

R6	・地域協働型学校づくり協議会の開催(3回)、教育講演会・研修会の実施、通学路点検など ・タブレットPCの活用とオンライン授業の実践 ・ICT教育の推進(デジタル教科書やデジタルドリルの活用、電子黒板化等) ・GIGAスクール運営支援センターによる指導面及び技術面への支援・相談対応の実施 ・高等学校就学支援対策事業補助金に入学祝い金(新1年生に50,000円) ・学校給食費の保護者負担軽減対策(公費負担継続) ・運動習慣化に向けての運動教室 ・自主的な社会教育事業への助成拡大 ・スポーツ大会、文化大会等の参加助成内容の拡充	(予算額) ・交付金 1,336千円(CS) ・使用料 2,186千円(デジタル教材) 54千円(授業目的公衆送信補償金) 1,002千円(有害サイト除去フィルタ) ・委託料 2,944千円(GIGAスクール運営支援センター整備事業) ・補助金 1,900千円(高校生入学祝い金分) 2,650千円(スポーツ・文化振興奨励事業:大会参加分) ・償還金 43千円(債務負担行為限度額37,195千円)
R7		
進捗状況	実施済み ・ 一部実施 ・ 未実施(検討中) ・ 未着手	
今後の取組・方向性	【村長ヒアリング結果】 ・実施済みとする。 【総合行政推進委員会からの意見】 ・中札内村の学力テストの結果が全国平均を超えていることが多く、素晴らしい。 ・補助金の制度を柔軟に変更して利用しやすくする努力が感じられる。子どもたちの動機付けになっている。	